

2021年 新年のご挨拶



迎春

一般社団法人
日本自動販売システム機械工業会
会長 尾上 広和

新年明けましておめでとうございます。2021年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。また、現在罹患されている方や不安な状況で過ごされる方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早く事態が好転することを強く望んでおります。

さて、昨年は世界中がウィルスという目に見えない脅威と戦い、働き方や普段の生活までも変化を迫られる年となりました。新型コロナウイルスは、2019年末中国・武漢市より発生し、瞬く間に感染を広げ、今や感染者数は世界中で約8,000万人に及びます。この未知のウィルスとの遭遇により、我々の生活は想像もつかないほど一変いたしました。4月には政府より緊急事態宣言が発令され、外出自粛の要請やマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など新しい生活様式を求められ、在宅勤務やテレワークなど仕事への取り組み方も変化せざるを得ないこととなりました。また、7月に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックは延期となり、本年の開催も予断を許さない状況にあります。経済においては、ウィルスによる影響を色濃く受け、2020年4月～6月期の実質GDPは、前期比7.9%減、年率換算で28.1%

の減少となり戦後最大の下落幅を記録しました。現在においても、医療体制の逼迫から、G o T oキャンペーンなどの消費刺激策も停止となるなど、ウィルスとの闘いはいまだ道半ばにあります。

自販機業界におきましては、以前から減少傾向にあった飲料自販機が、新型コロナウイルスの影響を受け、更に出荷台数を減らし、2020年1月～12月の新台出荷は、15万台程度となる見込みです。これは外出自粛やテレワーク導入などにより、屋外や職域での清涼飲料の売り上げが落ち込んだことが要因に挙げられます。また、昨今成長傾向にありました切符自販機においても同様に出荷が減少することとなり、特に食券券売機は、飲食店における営業自粛の影響を受けるなど前期比90%程度となる見込みです。こうした状況を受け、落ち込みつつある市場の回復を図るべく業界一体となって改善策に取り組んで参ります。

また、本年には新500円貨幣の発行が行われ、2024年度には新日本銀行券の発行が予定されております。改刷・改鑄にあたっては、円滑な新通貨流通のため、当会が中心となって対応を進めていく所存でございます。その他、省力化・マーケティング力の向上を目的とした新通信仕様の普及促進や、ATMにおける認証プログラム制度の構築など、自販機・自動サービス機の付加価値を向上する施策に取り組んで参ります。

最後になりますが、ウィルスにより変容した世の中をピンチと捉えるか、チャンスと捉えるかによって、大きく物事の見方が変わって参ります。当会におきましても状況を少しでも好転させる工夫を凝らし、「安全」・「安心」な自販機・自動サービス機のご提供に一層取り組んで参ります。今後とも引き続きご指導、ご協力をお願い申し上げ、皆様のご健勝とご繁栄を祈念して新年の挨拶と致します。

以 上